

平成 27 年度事業報告書（抜粋）

I. 会員数報告

正会員	125名	(159名)
賛助会員	63名	(39名)
合計	188名	(198名)

() 内は昨年同期における会員数

II. 事業別協会活動報告

平成 27 年は当協会が創立 60 周年に当たることから前年に親委員会である組織委員会を立ち上げ、会員総力体制で臨み各組織で具体化した。

協会創立 60 周年記念事業 組織委員会 構成

順不同敬称略（平成 27 年 10 月 CON-EX 2015 開催時点）

委員長 邊 吾一 会長（日本大学）

講演部門アドバイザー 笠野英秋（元拓殖大学）

展示部門アドバイザー、製品賞選考委員会 委員長、協会誌表紙デザインコンペ選考委員会 委員長 末益博志（上智大学）

60 周年記念特別表彰委員会 委員長 福田 博（東京理科大学）

講演部門委員会 実行委員長 藤井 透（同志社大学）

講演部門委員会 副実行委員長 青木隆平（東京大学）

講演部門委員会 副実行委員長 齋藤直義（DIC マテリアル株）

展示部門委員会 実行委員長 萬喜裕基（バンポー工業株）

展示部門委員会 副実行委員長 中野光法（昭和電工株）

展示部門委員会 副実行委員長 玉田善明（玉田工業株）

展示部門委員会 副実行委員長 宇津木和之（日東紡績株）

展示部門委員会 副実行委員長 足立敏一（AGC マテックス株）

記念出版委員会 委員長 橋本博文（三菱樹脂インフラテック株）

記念出版委員会 副委員長 轟 章（東京工業大学）

記念出版委員会 副委員長 入澤 稔（セントラル グラス ファイバー株）

(1) 60th FRP CON-EX 2015（第 60 回 FRP 総合講演会・展示会）

平成 27 年 10 月 15 日、16 日に秋葉原 UDX で協会創立 60 周年記念事業として実施した。

(2) 記念出版(4 冊)

- ・「連続繊維 FRTP の成形法と特性」カーボン、ガラスからナチュラルファイバーまで
編著 邊 吾一 発行 日刊工業新聞社
- ・「FRP60 年の歩み」製本版および CD 版
- ・「FRP 用途事例集」（2015 年版）製本版および CD 版
- ・「基礎からわかる FRP」ー繊維強化プラスチックの基礎から実用までー
一般社団法人 強化プラスチック協会 創立 60 周年記念出版

一般社団法人 日本複合材料学会 創立 40 周年記念出版
強化プラスチック協会 編、コロナ社 発行

(3) 創立 60 周年記念表彰

感謝状 10 社 記念功労賞 15 名 特別感謝状 3 名

(詳細：協会誌「強化プラスチック」2015 年 12 月号 特集号に掲載)

平成 27 年度の協会活動を次の 8 事業に大別して報告する。

1. 情報サービス等会員との連携強化事業

FRP 産業に寄与する事業展開を旨として当協会の存立基盤でもある会員の貴重な声を反映させ、各種特集号の企画を含めタイムリーに実施した。

①FRP の基礎知識習得を目標とした FRP 入門講習会を開催した他、コンポジット市場動向等を目的として海外 FRP 事情の提供は会誌を通じて行った。

②講演・セミナー等協会が共催・後援・協賛する催物は多岐に亘り、かつ FRP に関する多くの情報を提供した。

平成 27 年度直接・間接に関連する事業を以下に示す。

(1) 講演・講習会・セミナー等

【当協会が主催したもの】

① 60th FRP CON-EX 2015 (第 60 回 FRP 総合講演会・展示会)

順不同敬称略

展示部門委員会 実行委員長 萬喜裕基 (バンポ工業株)

講演部門委員会 実行委員長 藤井 透 (同志社大学)

協 賛：70 関連学・協会

会 期：平成 27 年 10 月 15 日 (木)、16 日 (金)

会 場：秋葉原 UDX

協会創立 60 周年記念祝賀会 180 名参加

平成 27 年 10 月 15 日 (木) 夕刻より、秋葉原 UDX

講演、延べ 600 名参加

インターナルセッション 2 件

セミナー講演 8 件

キーノート 1 件

特別講演 1 件

一般講演 31 件

展示、延べ 3,503 名

一般展示 46 企業・団体 57 ブース

カタログ展示 4 企業

特別展示 4 企業・団体

表彰

創立 60 周年記念感謝状 (特別会員各社) 10 社

創立 60 周年記念功労賞 15 名

創立 60 周年記念特別感謝状 (海外) 3 名

製品賞 一般展示 5 社

② FRP 懇話会

第7回

日 時：平成 27 年 5 月 15 日（金）17：00～19：00

会 場：強化プラスチック協会 会議室

話題提供者：運営会議議長 大熊秀夫 氏（日本タンク装備㈱）

題 目：大型インフュージョン成形品への UP・VE 液状特性の調整法
（硬化時間のプログラム化での対応）

第8回

日 時：平成 27 年 12 月 17 日（木）17：00～19：00

会 場：強化プラスチック協会 会議室

話題提供者：㈱光レジン工業 社長 大野仁生 氏

題 目：GFRP 製密閉型防災・救命シェルターの開発と進化

③ 第 28 回 FRP 入門講習会（東京）

期 日：平成 27 年 6 月 29 日（月）

会 場：日本大学理工学部 駿河台校舎

企画実施：情報・編集委員会

【当協会が共催/後援/協賛したもの】 約 35 件

(2) ホームページ

- ・ホームページを通じた協会事業の開示並びに内容充実に努めた。
- ・協会創立 60 周年記念事業の一環として立ち上げた英語版に主要項目の更新・追記をした。

(3) FRP 用途別出荷量集計発表（原料部会）

FRP 用途別出荷量を取りまとめ発表した。

(4) 国際交流活動

海外視察：

- ・CCE 2015 (9 月 2 日～4 日 上海) 12 名
- ・JEC Asia 2015 (10 月 20 日～22 日 シンガポール) 20 名
- ・CAMX 2015 (10 月 26 日～29 日 ダラス) 2 名
- ・JEC World 2016 (3 月 8 日～10 日 パリ) 22 名

協会誌報告：以下各報告

- ・JEC Europe 2015 (6 月号)
- ・「世界の FRP 業界動向」(10 月号)
- ・協会活動報告 欧・米・アジア地域交流推進(9) (12 月号)
- ・JEC Asia 2015 (2 月号)
- ・CCE 2015 視察団報告 ((1) 2 月号、(2) 3 月号)

60th FRP CON-EX 2015：委員会報告 (10 月 15 日 秋葉原 UDX)

(5) JEC World 2016 視察ツアー

会 期：平成 28 年 3 月 7 日～13 日

会 場：パリ

(6) JEC Asia 2015 視察ツアー

会 期：平成 27 年 10 月 19 日～23 日

会 場：シンガポール

(7) 会員への技術情報サービス

(8) ユーザーへの協会活動広報と FRP の啓蒙普及

(9) 関連官公庁・団体との連絡による情報収集

2. 刊行事業

本会の機関誌である協会誌「強化プラスチック」(月刊)の更なる内容充実に努めた。協会誌の編集会議を毎月1回開催した。同時にセミナーの状況等を委員会に報告している。協会誌に特集号、連載講座、特別企画「FRP60年の歩み」を企画・掲載した。

協会創立60周年記念出版として、「FRP60年の歩み」と「FRP用途事例集」(2015年版)の製本版およびCD版を編集・発行し、CON-EX 2015の会場で10月15日に販売開始した。

また、FRP入門の大幅改訂版として、また書店に置けるものとして「基礎からわかるFRP」を執筆・編集し、3月22日にコロナ社から発行した。

電子メールでの会員の声の投稿先を継続的にご案内して意見を求め、毎号協会誌発行後に会員メールで読後のご意見・ご感想を求め、協会誌の「読者の欄」への公開を継続中。

- (1) 協会誌「強化プラスチック」(Vol.61,No.04~Vol.62,No.03)
60周年記念事業の一環として実施した協会誌表紙デザインコンペの優秀作品を、平成28年1月号(Vol.62,No.01)から採用した。
- (2) 60th FRP CON-EX 2015 講演要旨集
- (3) 「FRP60年の歩み」製本版およびCD版 発行
- (4) 「FRP用途事例集」(2015年版)製本版およびCD版 発行
- (5) 「基礎からわかるFRP」強化プラスチック協会 編、コロナ社 発行
協会誌表紙デザインコンペの佳作を基本デザインとして表紙に採用した。

3. 規格標準化等推進事業

創立60周年に当たる2015年、「FRP60年の歩み」創刊に際し過去10年間のJIS-ISO(TC61 ISO 138)はじめこれらISOと抵触しない協会規格、製品規格他を書き添えまとめ資料に供した。JISについては2005年から2014年の10年間に計28件が制定、改正された。前者が15件、後者は13件である。内12件が国際規格と対応している。

その内訳は国際規格との関係からみる一致規格(IDT)が3件、修正規格(MOD)が9件。一方、ISOは同期間にTC 61から14件、TC 138から7件、合計21件発行されている。因みにTS(標準仕様書)は1件、TR(標準報告書)は2件だった。

また上記TC以外JIS Aの分類にて水槽、浴槽に関連して3件が改正されている。2015年3月19日付け国民生活センターから「ガラス繊維強化プラスチックによるけがに注意!」が発表されたことを受けて(一財)製品安全協会は同年 検査マニュアルを改正2015年7月1日から運用を開始した。

4. 廃棄物・環境問題対策事業

(1) 廃FRPの再資源化

東京ビッグサイト(国際展示場)等で開催する各種大型展示会でFRP再資源化を広報した。

またLPガス用FRP容器の国内実用化に際し、各段階(・3年毎の定期容器検査、・使用寿命15年全う)で発生することからFRP製品の再資源化スキームの共有化を図るべく活動を行った。

東日本大震災の津波被害に伴い建設したプレハブ住宅の撤去に伴う FRP 関連製品の再資源化について情報提供を行った。

(2) 環境委員会

60th FRP CON-EX 2015 で、中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター山田憲一氏に「FRP 製造業におけるこれからの化学物質の管理」について講演頂き、その後協会誌 2016 年 5 月号に解説記事を掲載頂いた。

5. 技能振興検定等推進事業

技能振興検定委員会一長：大熊秀夫（日本タンク装備㈱）

中央職業能力開発協会、都道府県職業能力開発協会と連携、職業能力開発促進法に定める FRP に関する各種技能検定制度や同制度を利用した講習会に積極的に協力した。またより多くの受験者が本制度を利用できるよう広報に努めた。

- ・強化プラスチック成形、手積み積層作業技能検定制度
- ・強化プラスチック成形、防食作業技能検定制度
- ・防水施工、FRP 防水工事作業検定制度
- ・外国人技能実習制度

6. 表彰制度推進事業

表彰委員会一長：

平成 27 年度、推薦のあった FRP 技術賞、功績賞候補者につき審議を行い、委員全員が授賞にふさわしいとの結論を得て会長に報告した。平成 27 年度 功績賞、FRP 技術賞各賞授賞者の発表及び表彰は第 61 回通常総会時に行われる。

7. 開発・研究関連事業

(1) FRP 性能評価委員会（委員長 青木隆平（東京大学））

会員各位や部会等各組織及び官・公立機関からの問い合わせや相談に応じたが、委員会としての正式な対応までには至らなかった。

(2) 熱可塑性複合材料（FRTP）研究会（委員長 濱田泰以（京都工芸繊維大学））

第 5 回：平成 27 年 5 月 22 日（金）東京都立産業技術研究センター

第 6 回：平成 27 年 10 月 2 日（金）福井県工業技術センター

(3) 炭素繊維成形・利用研究会（委員長 末益博志（上智大学））

第 2 回：平成 27 年 4 月 10 日（金）上智大学

第 3 回：平成 27 年 12 月 8 日（火）東レ㈱ 名古屋工場 A&A センター

(4) 橋梁開発専門委員会準備委員会（委員長 睦好宏史（埼玉大学））

橋梁を含む土木用途に関する研究会を立ち上げる方向で検討中。

8. 工業部会活動推進事業

工業部会は特定の業種、商品群に関する会員相互の技術水準の向上、情報交換等を目的として組織活動を行った。いわゆる工業会的活動をとおして各々の組織の事業目的に沿った自主的な事業活動を推進した。

(1) 原料部会一長：上期 石黒慎一郎（オーウェンス コーニング ジャパン合同会社） 下期 三野大輔（日東紡績㈱）

FRP 業界の市場動向の調査/分析並びに協会活動への積極的な協力/支援を行った。

- ① 国内「不飽和ポリエステル樹脂（ビニルエステル樹脂含む）・ガラス繊維使用 FRP 製品」の用途別、成形法別出荷推計資料の作成と定期広報
 - ② 主要な FRP 製品の動向分析
 - ③ 60th FRP CON-EX 2015 で需要動向報告
 - ④ 協会誌への投稿、JEC World 2016 視察参加
- (2) 給水タンク部会—長：清須美健治（積水アクアシステム(株)）
- ・給水タンクの市場動向掌握
 - ・（一財）ベターリビングの「給水タンク安心支援サービス」の運用と制度推進
 - ・水槽診断士制度の基準見直し/技術的協力
 - ・水槽の役割/重要性を PR のため、「新水槽ビジョン」の製作を検討
 - ・厚生労働省科学研究会/土木学会地震工学委員会への参画
- (3) タンクローリー部会—長：鈴木正幸（(株)富洋レジン工業）
- 部会員相互による情報交換を行った。組織的な活動はしなかった。
- (4) 耐食部会—長：鈴木 克己（(株)富洋レジン工業）
- ① 耐食部会は 5 回（4 月 23 日、7 月 9 日、10 月 5 日、12 月 10 日、2 月 18 日）開催。
 - ・ 60th CON-EX 2015 秋葉原（10 月 15 日～16 日）の入場券配布。
 - ② 耐食 FRP 劣化診断分科会は、4 回（5 月 21 日、8 月 27 日、11 月 19 日、1 月 21 日）開催。
 - ・耐食 FRP の劣化診断方法の確立として、味の素(株)川崎工場で塩酸タンクとして使用したサンプル入手後試験評価中。
 - ・非破壊検査方法の機器調査
 - ・FRPS C003（強化プラスチック製耐食機器に関する性能検査指針）改定対応（劣化事例：写真、サンプル提供）
 - ・研究講演会、等情報活動。
 - ③ その他の団体との連携
 - ・化学工学会装置材料部会有機材料分科会委員会活動及び関西 FRP フォーラム関係の講演会に参加。
 - ・樹脂ライニング工業会研究会、日本複合材料会議等、情報活動に参加。
- (5) FRP 引抜成形工業部会—長：柏女浄照（AGC マテックス(株)）
- ・現在部会員は 1 社のため、主要な活動は休止中。
 - 以下は協会全体活動への参画状況
 - ・60th FRP CON-EX 2015 の展示部門実行委員として参加した。
 - ・平成 28 年度になるが、4 月 22 日～23 日に東京ビッグサイトにて開催された「エクステリアエキシビジョン 2016」に、引抜成形工業部会として引抜部材のエクステリアへの応用をテーマに出展した。